研究課題名

「　非侵襲性陽圧換気療法（NPPV）の使用実態に関する多施設共同研究　」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第21号）

多施設共同研究実施についてのお知らせ

　沖縄県立中部病院呼吸器内科では、「非侵襲性陽圧換気療法（NPPV）の使用実態に関する　　多施設共同研究」という多施設共同研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成28年 8月 5日

【研究課題名】

非侵襲性陽圧換気療法（NPPV）の使用実態に関する多施設共同研究

【研究期間】

2015年1月〜2015年3月

【調査対象】

上記期間で非侵襲性陽圧換気療法（NPPV）を導入した全ての症例

【研究目的・意義】

　前回、承認を得たハイフローセラピー（High Flow Therapy）と非侵襲性陽圧換気療法（NPPV）を用いた症例背景を比較する事で今後の使用適応の見直し、ハイフローセラピー　　単独での保険収載に向けての大切な情報となる事が予想される。

【研究の方法】

　上記の研究対象期間に非侵襲性陽圧換気療法(NPPV)を導入した患者さんの診療情報を調査票にして解析します。

調査票の内容は

1. 患者背景（年齢、性別、現疾患、併存疾患）

2) NPPVの使用目的（急性呼吸不全、抜管後の呼吸不全予防、慢性Ⅱ型呼吸不全、緩和、加湿目的など）

3) NPPVの使用場所（一般病棟、集中治療室、救急外来など）

4) NPPV使用時のコードステータス

5) NPPV使用日数

6) NPPV導入時の設定（モード、圧設定、酸素濃度）

7) NPPV導入前の呼吸管理方法と設定もしくは酸素流量（酸素マスク、ハイフローセラピー（HFT）、人工呼吸器など）

8) NPPV導入前バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、SpO2）

9) NPPV導入前動脈血液ガス（pH, PaCO2, PaO2）

10) 転帰

転帰については生死のみでなく、呼吸管理方法の転帰も記載する。

11) 有害事象

ただし、記載項目の一部が欠落していても登録は可能とします。

【個人情報の取扱い】

この研究を実施するにあたって、対象となる患者さんの診療情報から住所、名前等が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行います。各々の患者さんとこの符号とを結びつける対応表は、当院の研究責任者が厳重に管理します。解析を行う研究者には新しい符号と解析対象となる情報のみが伝えられます。解析している研究者は個人情報がわからず、誰の診療情報を解析しているのかわからない方法を用います。

【研究機関】

　沖縄県立中部病院　呼吸器内科

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院　呼吸器内科　根井　雄一郎

電話　098-973-4111　FAX　098-974-2165